南 一 弘の

街を行く

第126回 戸越銀座 *Togoshiginza*

この時期に必要なのはメンタル解放です

東京都知事が「Stay Home」を繰り返す毎日が続いています。スローガン自体は間違っていませんが、ただ鵜呑みにして家にいればよいとも限りません。たとえば家の外に出てみる、時によい風に当たり元気を取り戻すことも正しい判断だと思います。感染防止と同じくメンタルケアも大切だからです。無茶こそ決してしませんが、ただお上の言う通りにしていれば国は守ってくれると過信せず、各自自己責任で何をすべきか考え、適切な行動をとっていくのが得策でしょう。

「街を行く」でも元気な街を訪れようと考えました。時期が時期ですから高級ブランドや観光地は避け、地元庶民がささやかに集まれる元気が取り柄の街を選びます。数ある中でも先ず頭に浮かぶのは戸越銀座ではないでしょうか。

小生は浅草線「戸越」駅（第二京浜沿い）を降り、西側の戸越銀座通りから歩き始めました。角にはカフェ、通りにはラーメン屋や手作りベーカリー、昔ながらの魚屋、鯛焼き本舗が軒を連ねています。池上線「戸越銀座」駅の踏切を超えたら、餃子や唐揚げの専門店があり「シロクマカフェ」も見つけました。そこをさらに進むと中原街道にぶつかり、ここが西側の終点となります。

折り返して第二京浜を渡れば東側の戸越銀座通りの始まりです。東側は商店街の通りの幅が西側より少し広く車通りも結構ありますが、ここには事前に調べておいたお目当ての店があることもあって足取りは軽くなってきました。商店街の端には年季の入ったお嬢さんが揚げる絶品の「かたばみ精肉店」のコロッケがあります。昔ながらのコロッケ、ハムカツ、メンチカツを今晩のおかずに購入。お店の人に「田町から来た」と話すと喜んでくれ、ポテトフライをサービスにつけてもらいました。気持ち的にはその場で頬張りながら歩きたかったのですが、食べ歩きはご法度な時期ですからぐっと我慢。デザートに米粉で作ったパンを買って帰りました。

元気を取り戻しに訪れた戸越銀座。かたばみ精肉店で今晩のおかずを調達

たった数時間の街歩きでしたが、包装紙の中から漂う出来たての揚げ物の香りも手伝い、ほのぼのした暖かい気分になりました。国民にとってオリンピックのような華やかで大規模な催しは気持ちが盛り上がりますが、一人間にとって普段の何気ない買い物も大切なイベントです。そして自由な行動が一番ということも、よくわかった街歩きでした。

このコロナ騒ぎはワクチン接種後も続きます。つまり長期戦の覚悟が必要です。そのためにも身近にある心温まる場所を探しておいてください。改めて感じましたが「街歩き」はメンタルとフィジカルの両面においてよいですよ。これほど簡単なリフレッシュはありませんから。

南 一弘

1982年大学卒業後、三井不動産販売に入社。ローンスター・ジャパン・アクイジションズを経て、2001年エートス・ジャパン・エルエルシーを設立。同代表に就任。2005年4月MID都市開発（旧松下興産）の代表取締役に就任。2006年ジャパン・アセット・アドバイザーズを設立。同代表取締役に就任。